



2025年3月期 第2四半期決算説明資料

2024.11.5



愛と喜びのある食卓をいつまでも

Lasting love and joy at your table



St.Cousair



久世福商店

KUZE FUKU & Co.



Bonnie's Jams

DISCOVER the TASTE of FRUIT

ハイライト

- 当第2四半期連結累計期間の売上高は、9,208百万円（前年同期比+2.1%）、営業利益は235百万円（同▲68.5%）と増収減益。
- 店舗売上高は、直営が前年同期比▲4.4%、FCが同+4.4%。店舗数は前連結会計年度末比で+3店舗（直営：新規出店1、退店1、FC：新規出店6、退店3）。直営1号店としてオープンしたMeKEL長野若里店は、業績不振により2024年9月に退店。
- 既存店※お客様数は、4月を底として前年同期比で回復傾向が継続（9月+6.0%）。また、お客様単価に関しても、2023年12月以降実施した商品値下げ前となる前年同期と比べ、お買い上げ点数の増加等により同水準にまで回復しつつある（9月▲0.4%）。
- EC売上高は、前年同期比+9.7%と堅調に推移。高まるギフト需要に対し、商品ラインナップの強化やサービスの充実等の施策を実施。利用者数も継続して増加している。
- ホールセール売上高は、主要取引先である大手小売チェーンに対して、一部商品の販売が苦戦を強いられており、前年同期比▲26.9%。
- グローバル売上高は、米国既存ブランドの売上高増、アジア市場での売上高増に加え、2023年6月に事業譲受したPortlandia Foodsの売上計上により、前年同期比+118.1%と大きく成長。
- チャネル別売上構成の変化や、2023年12月より順次実施した商品の値下げ等の施策、また原材料価格の高騰等により、当第2四半期連結累計期間の売上総利益率は34.6%で前年同期比▲4.8pt。

※当社グループは、開店後18か月以上経過した店舗を「既存店」としております。

連結業績概要

- 当第2四半期連結累計期間は増収減益。
- チャンネル別売上構成の変化、2023年12月より順次実施した商品の値下げ等施策、さらに原材料価格高騰等の影響で売上総利益率が低下。自社製造商品の原価低減に向けた取組や、FC向け卸価格の適正化を推進中。
- 販管費の増加は、物流コストの高騰、従業員へのベースアップによる人件費増加が主たる要因。
- MeKEL長野若里店の退店等に伴う減損損失等の特別損失を計上した。

単位:千円	2Q累計期間(2024/4～2024/9)			2Q会計期間(2024/7～2024/9)		
		前期実績	前年同期比		前期実績	前年同期比
売上高	9,208,969	9,018,999	+2.1%	4,611,672	4,212,860	+9.5%
売上原価	6,019,175	5,463,938	+10.2%	3,016,070	2,591,353	+16.4%
売上総利益	3,189,793	3,555,061	▲10.3%	1,595,602	1,621,506	▲1.6%
売上総利益率	34.6%	39.4%	▲4.8pt	34.6%	38.5%	▲3.9pt
販管費	2,954,422	2,808,592	+5.2%	1,447,532	1,377,670	+5.1%
営業利益	235,371	746,468	▲68.5%	148,069	243,836	▲39.3%
営業利益率	2.6%	8.3%	▲5.7pt	3.2%	5.8%	▲2.6pt
経常利益	210,353	816,075	▲74.2%	42,348	261,018	▲83.8%
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	1,456	524,961	▲99.7%	▲78,182	160,773	▲148.6%

販売チャネル別売上高

- 店舗(直営・FC) …… 既存店※売上高は、直営が前年同期比▲4.4%、FCが同+4.4%。既存店客数は4月を底として、前年同期比で回復傾向が継続(9月+6.0%)。客単価も2023年12月以降実施した商品値下げ前となる前年同期と比べ、買上点数の増加等により同水準にまで回復しつつある(9月▲0.4%)。
- EC …… 高まるギフト需要に対する商品やサービスの拡充を継続的に実行し、売上高は前年同期比+9.7%。
- ホールセール …… 大手小売チェーンへの一部商品の販売が苦戦を強いられており、前年同期比▲26.9%。
- グローバル …… 米国既存ブランド及びアジア市場での売上高増に加え、2023年6月に事業譲受したPortlandia Foodsの売上計上により、前年同期比+118.1%と大きく成長。

単位:千円	2Q累計期間(2024/4～2024/9)					2Q会計期間(2024/7～2024/9)				
		構成比	前期実績		前年同期比		構成比	前期実績		前年同期比
				構成比					構成比	
直営	2,904,825	31.5%	3,039,139	33.7%	▲4.4%	1,440,413	31.2%	1,439,655	34.2%	+0.1%
FC	3,449,832	37.5%	3,305,829	36.7%	+4.4%	1,670,744	36.2%	1,440,993	34.2%	+15.9%
EC	579,047	6.3%	527,624	5.9%	+9.7%	275,224	6.0%	231,576	5.5%	+18.8%
ホールセール	1,213,790	13.2%	1,659,706	18.4%	▲26.9%	592,527	12.8%	799,844	19.0%	▲25.9%
グローバル	1,061,474	11.5%	486,699	5.4%	+118.1%	632,762	13.7%	300,790	7.1%	+110.4%
合計	9,208,969	100.0%	9,018,999	100.0%	+2.1%	4,611,672	100.0%	4,212,860	100.0%	+9.5%

※ 当社グループは、開店後18か月以上経過した店舗を「既存店」としております。

販管費の状況

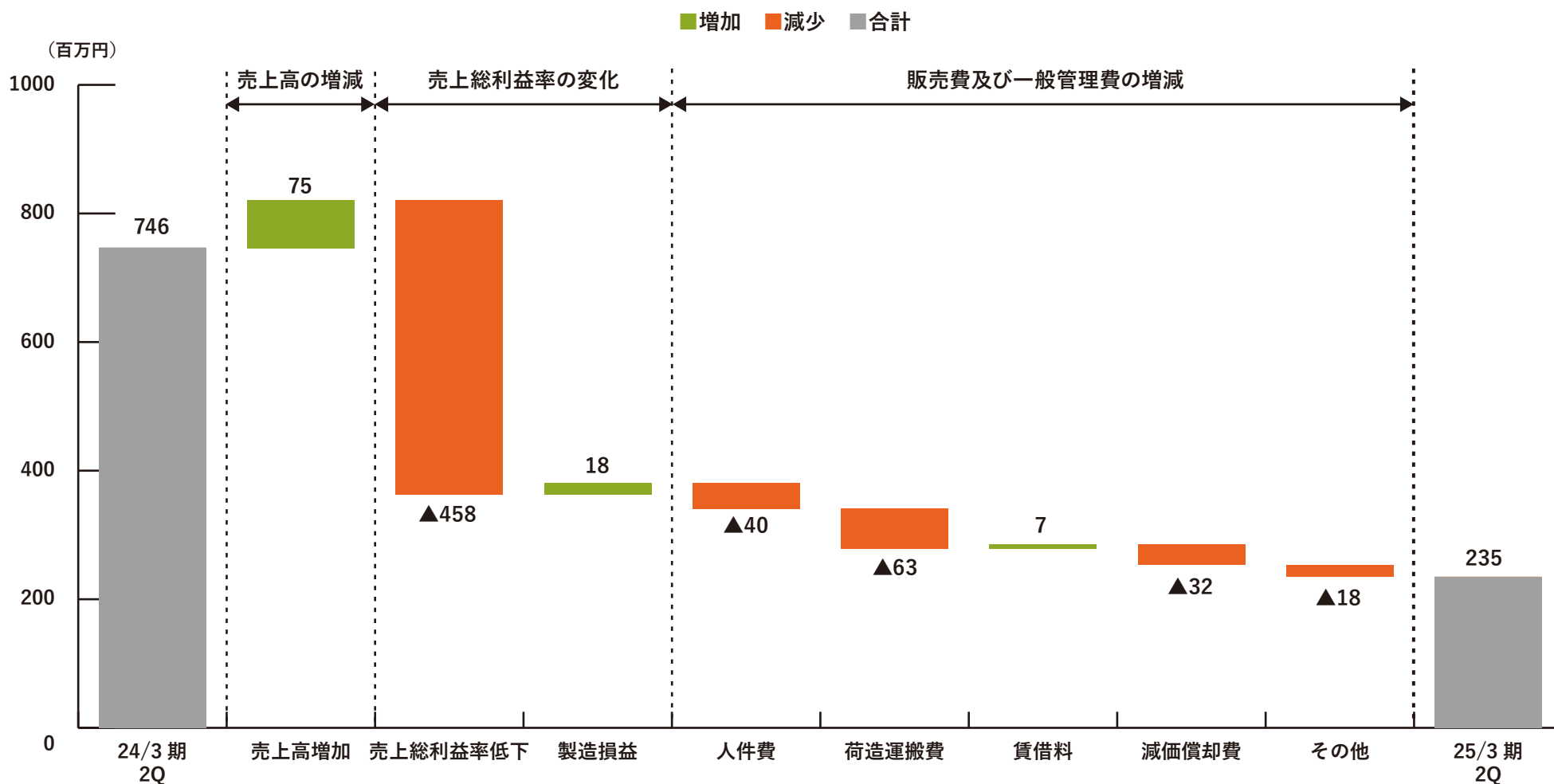
- 人件費……………ベースアップの実施等により、前年同期で+39百万円(+3.4%)の増加。
- 荷造運搬費 ……出荷業務の外注化、倉庫管理費及び輸送費の増加等により、同+62百万円(+11.2%)の増加。
- 減価償却費 ……MeKEL1号店、商品開発ラボ新設投資等により、同+31百万円(+42.6%)の増加。

単位:千円	2Q累計期間(2024/4~2024/9)					2Q会計期間(2024/7~2024/9)				
		売上高比	前期実績		前年同期比		売上高比	前期実績		前年同期比
				売上高比					売上高比	
人件費	1,205,893	13.1%	1,166,145	12.9%	+3.4%	599,645	13.0%	578,913	13.7%	+3.6%
荷造運搬費	621,885	6.8%	559,333	6.2%	+11.2%	304,658	6.6%	263,827	6.3%	+15.5%
賃借料	288,019	3.1%	294,563	3.3%	▲2.2%	142,275	3.1%	137,573	3.3%	+3.4%
減価償却費	106,938	1.2%	74,972	0.8%	+42.6%	53,194	1.2%	42,312	1.0%	+25.7%
その他	731,686	7.9%	713,576	7.9%	+2.5%	347,758	7.5%	355,044	8.4%	▲2.1%
合計	2,954,422	32.1%	2,808,592	31.1%	+5.2%	1,447,532	31.4%	1,377,670	32.7%	+5.1%

※1. 上記数値に関して外部監査人による四半期レビューは受けておりません。

連結営業利益 前年同期比

- チャンネル別売上構成の変化に加えて、原材料価格の高騰、2023年12月以降の商品値下げ等により、売上総利益率が悪化。
- 出荷業務の外注化や、倉庫管理費及び輸送費等の高騰により、荷造運賃費が増加。



連結業績予想の修正

2024年5月に発表した通期業績予想を修正。

修正の理由

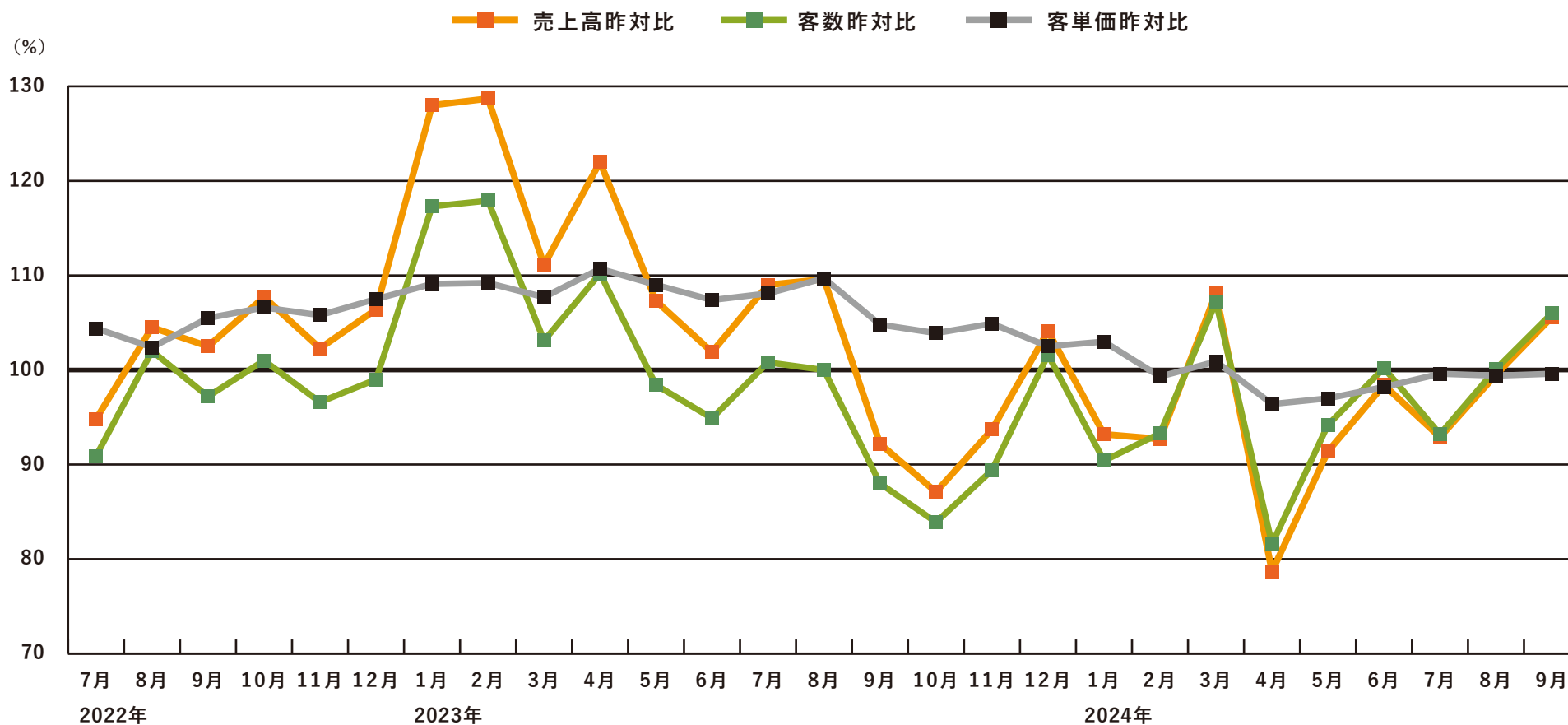
- リテール事業、EC事業、グローバル事業は概ね計画通りに販売が推移することを見込んでいる一方で、ホールセール事業において、一部商品の販売不振及び販売時期の後ろ倒しによる売上高の減少
- 売上高減に伴う営業利益及び経常利益の減少
- MeKEL長野若里店の退店に伴う減損損失の計上等による親会社株主に帰属する四半期純利益の減少

■連結業績予想の修正値 に対する進捗率

単位：百万円	2Q(2024/4~2024/9)			(参考) 前回発表 業績予想
		通期連結業績 予想	進捗率	
売上高	9,208	19,240	47.9%	20,913
営業利益	235	611	38.5%	1,342
営業利益率	2.6%	3.2%	-	-
経常利益	210	582	36.1%	1,329
親会社株主に帰属する 当期純利益	1	158	0.6%	864

既存店(※)売上高・客数・客単価推移

当連結会計年度の既存店客数は、前年同期比▲4.5%。但し、4月を底として、その後は回復傾向が継続している(9月+6.0%)



※当社グループは、開店後18か月以上経過した店舗を「既存店」としております。

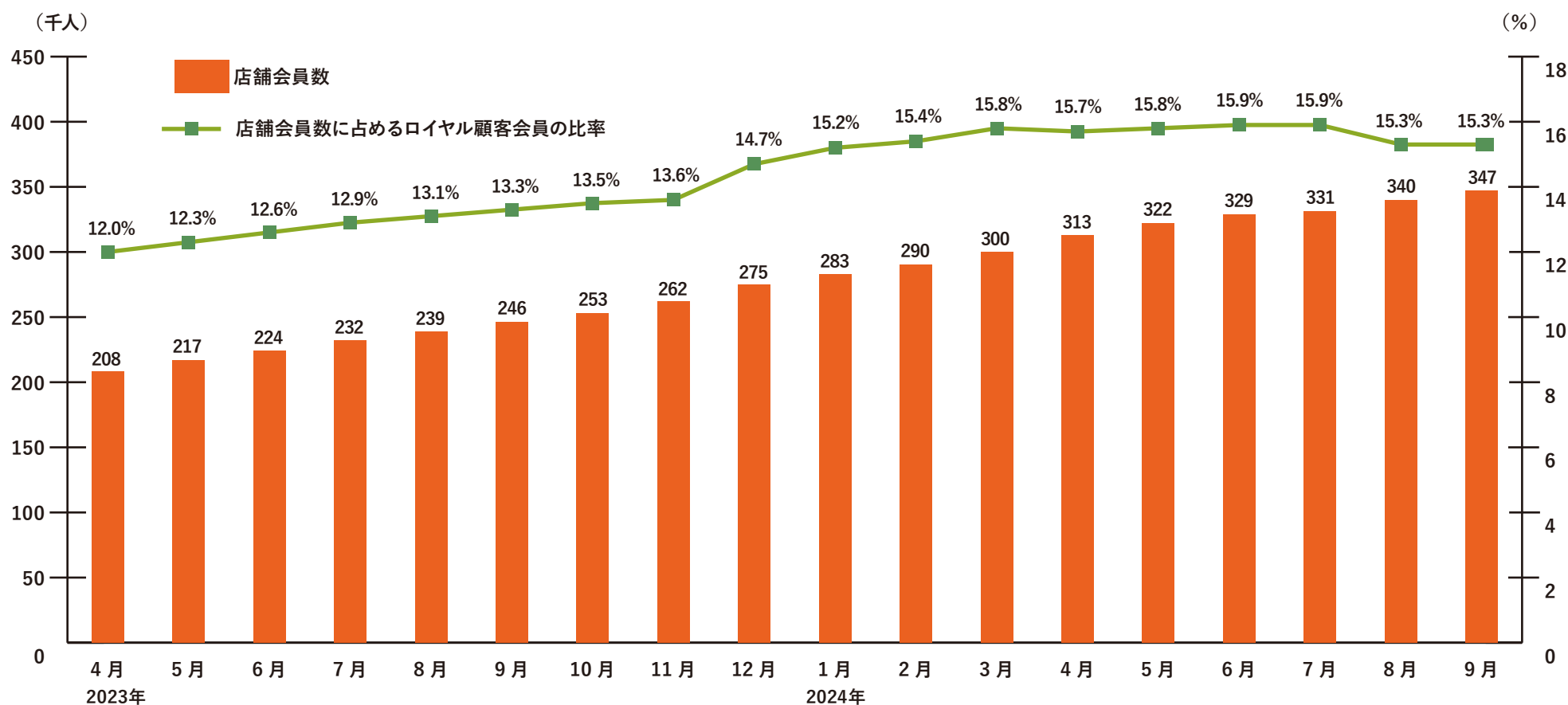
業態別店舗数

当第2四半期連結累計期間(2024年4月～9月)において、久世福商店業態8店舗(うちFC6店舗)を新規出店した一方、サンクゼール業態で3店舗(うちFC2店舗)、久世福商店業態で1店舗(うちFC1店舗)、MeKEL業態で1店舗を退店し、前連結会計年度末からは3店舗の増加。

単位:店舗		2024年 3月末 店舗数	2024年9月末(2024/4～2024/9)		
			出店	退店	店舗数
サンクゼール業態	直営	12	-	1	11
	FC	4	-	2	2
	合計	16	-	3	13
久世福商店業態	直営	39	2	-	41
	FC	115	6	1	120
	合計	154	8	1	161
MeKEL業態	直営	1	-	1	-
	FC	-	-	-	-
	合計	1	-	1	-
全業態合計	直営	52	2	2	52
	FC	119	6	3	122
	合計	171	8	5	174

店舗会員数・ロイヤル顧客比率

- 2021年4月に公式アプリを開始。以降、同アプリに登録しているお客様の数は、安定して増加。
- 当社のファンとなっただけのお客様を増やすために、自社小売店舗でのヒアリングやアンケートを通じてお客様のニーズの深掘りを継続して実施。

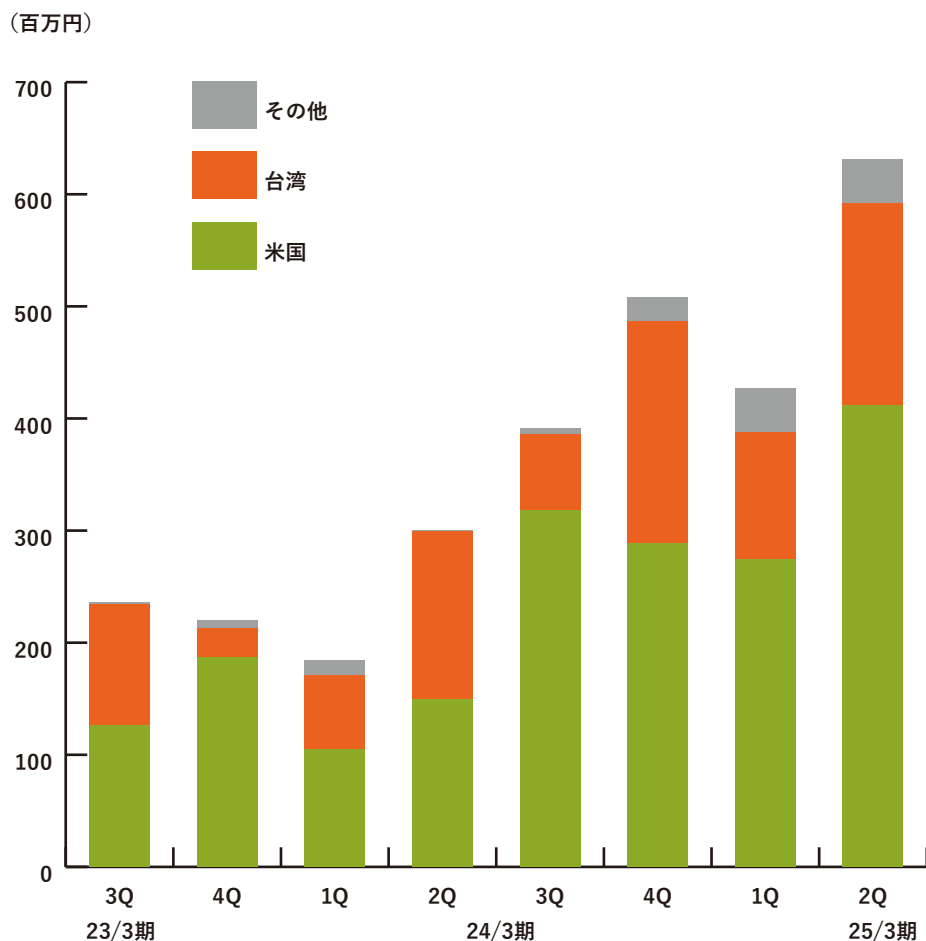


※1. 上記グラフはEC会員を含まない店舗をご利用いただいているお客様会員数を示しております。※2. 当社公式アプリにご登録いただいているお客様会員のうち、基準日(各月末)から起算して7ヶ月間の購入金額の合計金額が当社が定める基準金額を超えるお客様会員を「ロイヤル顧客」と定義しております。

グローバルの状況：国別売上高

当第2四半期連結累計期間の国別売上高は、前年同期比で米国向け売上が+169.5%、台湾向け売上が+36.1%とそれぞれ増加。

■ 国別売上高(※1、2)



■ 四半期ハイライト

米国

- 2023年6月に事業譲受したPortlandia Foodsブランド商品の売上計上、既存事業の成長により、当期2Q累計期間の売上高(※3)は前年同期比+432百万円(+169.5%)の増加。
- 当連結会計年度において、米国子会社損益の換算に用いた米ドル期中平均レートは152.36円(前年同期は135.00円)。

台湾

- 前期から継続して米系大手小売チェーンへの販売が好調であり、当期2Q累計期間の売上高は前年同期比+78百万円(+36.1%)の増加。

その他

- オーストラリア、香港、カナダに加え、前期4Qから韓国の顧客との取引を開始。

※1. 最終販売国別に集計しております。 ※2. 上記数値に関して外部監査人による四半期レビューは受けておりません。 ※3. 米国子会社における24年1月から6月が該当します。

貸借対照表

単位:千円	2023年9月末	2024年3月末	2024年9月末		
			前年同期比	前期末比	
現金及び預金	2,728,716	2,660,149	2,532,726	▲7.2%	▲4.8%
売掛金	1,445,195	2,206,610	1,603,422	+10.9%	▲27.3%
棚卸資産	1,745,069	1,523,707	1,746,753	+0.1%	+14.6%
その他流動資産	98,098	124,792	143,136	+45.9%	+14.7%
貸倒引当金	-58	-313	-13	▲76.3%	▲95.6%
流動資産合計	6,017,021	6,514,945	6,026,025	+0.1%	▲7.5%
固定資産合計	2,942,167	2,907,589	2,926,337	▲0.5%	+0.6%
資産合計	8,959,189	9,422,534	8,952,362	▲0.1%	▲5.0%
負債合計	4,472,472	4,680,457	4,324,834	▲3.3%	▲7.6%
純資産合計	4,486,717	4,742,077	4,627,528	+3.1%	▲2.4%
自己資本比率	50.0%	50.3%	51.7%	+1.7pt	+1.4pt

ROIC・ROE

■ ROIC (直近12ヵ月間)

8.8%

前連結会計年度 14.7%

計算式

営業利益 × (1 - 実効税率)

(株主資本 + 有利子負債)

■ ROE (直近12ヵ月間)

6.5%

前連結会計年度 18.3%

計算式

親会社株主に帰属する当期純利益

自己資本

2024年7月 久世福商店町田マルイ店 オープン

小型モデル



店舗デザイン	白を基調に明るく カジュアルな雰囲気
立地	駅近など買い回りの 良い立地
店舗規模	10～20坪
商品数	約300sku

標準モデル



店舗デザイン	黒を基調にシックで 落ち着いた雰囲気
立地	イオンモールを 中心とした郊外施設
店舗規模	40～50坪
商品数	約1,000sku

MeKEL長野若里店 閉店

良かった点

- オープン1年で仮説検証完了
- 顧客属性はおおむね見込み通り
- 客単価は仮説を上回る結果

改善点

- 長野駅から車で15分ほどの立地で、
周辺に買い回り要素がなく、
客数未達が業績不振の主要因



今後の展開

- 次の一手
検討フェーズへ
(首都圏での出店、ホールセール、EC など)



Bonnie's Jamsの事業譲受

当社連結子会社であるSCIは、2024年10月4日にBonnie's Enterprises, LLC(米国 マサチューセッツ州 以下、「Bonnie's Jams」という。)の加工食品販売事業を事業譲受。

Bonnie's Jams

DISCOVER *the* TASTE of FRUIT



Bonnie's Jamsは、米国マサチューセッツ州で、自社ブランドのフルーツやスパイス等を使用したオリジナルジャム等の加工食品を開発、販売

- ・ 新たな商品群と販路の獲得
- ・ 既存販路とのクロスセリング
- ・ 自社工場の製造効率アップ



グローバル事業の更なる拡大へ

FBC会員様イベント

FBCプログラムの一環として、当社への理解をより一層深めていただくためのFBC会員様イベントを開催。



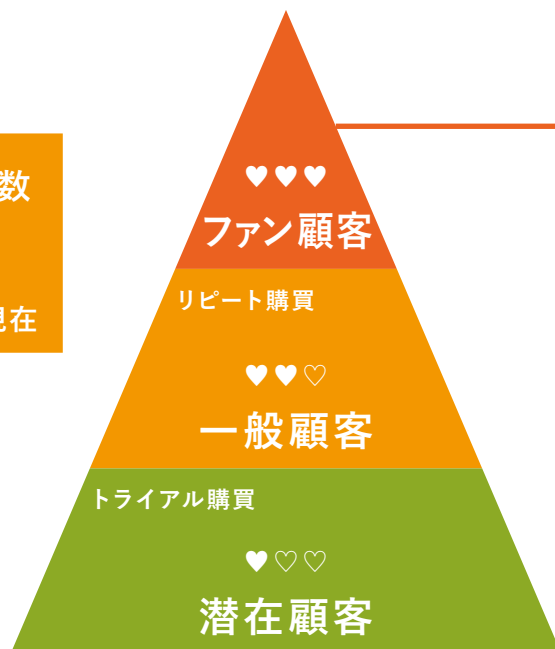
第1回 サンクゼールの丘体験イベント
(2024年6月7日開催)



第2回 取引様先の訪問ツアー(2024年7月12日開催)



アプリ総会員数
58万人
※2024年4月末現在



Fan - Based Community Program

(FBCプログラム)

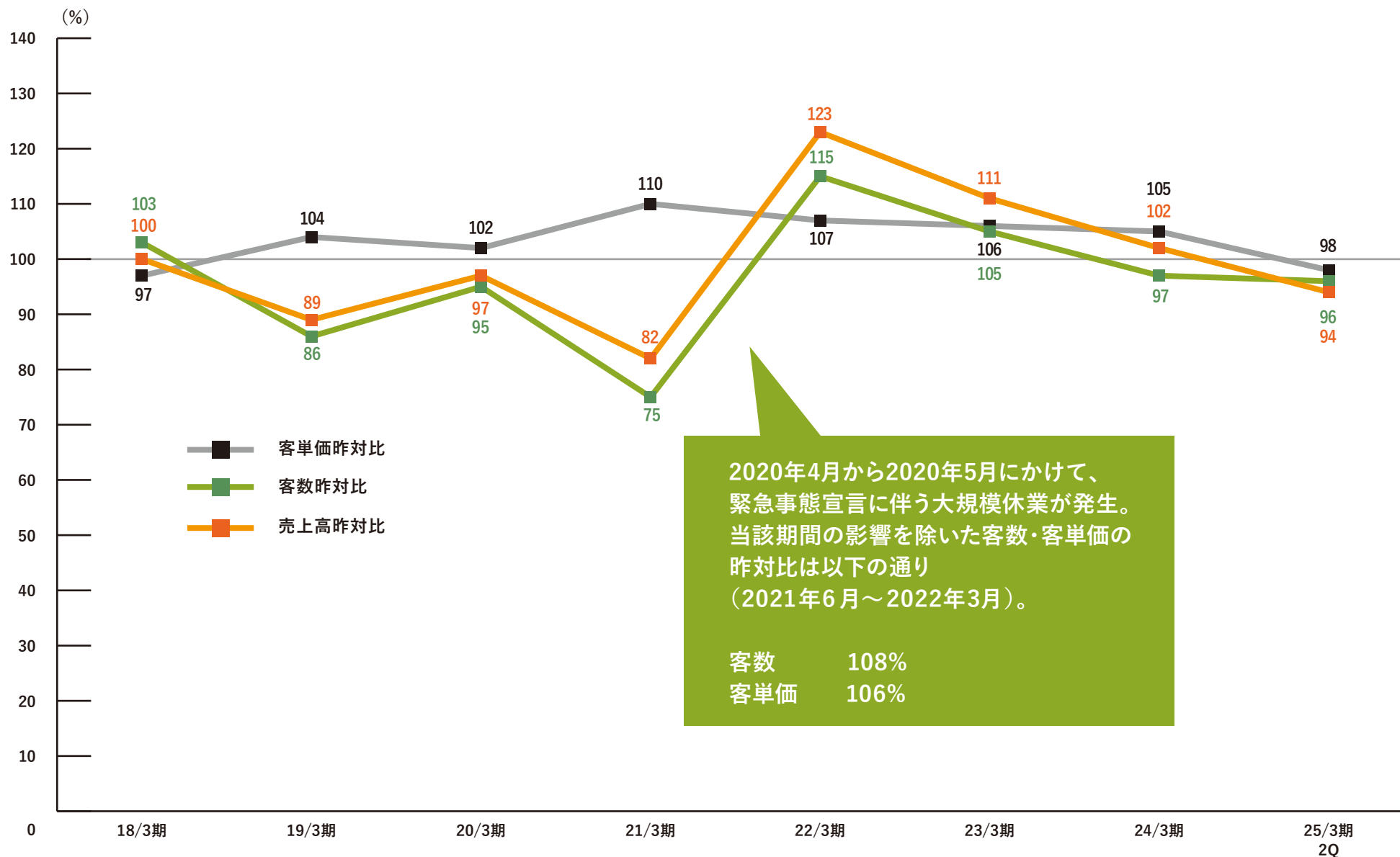
プログラム
参加会員数 **2,500**人

プログラム会員に対するインタビューやアンケートを通じて、お客様の当社商品・サービスに対するご意見や、潜在的なニーズを把握する。

ご注意事項

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さいますよう、お願いいたします。

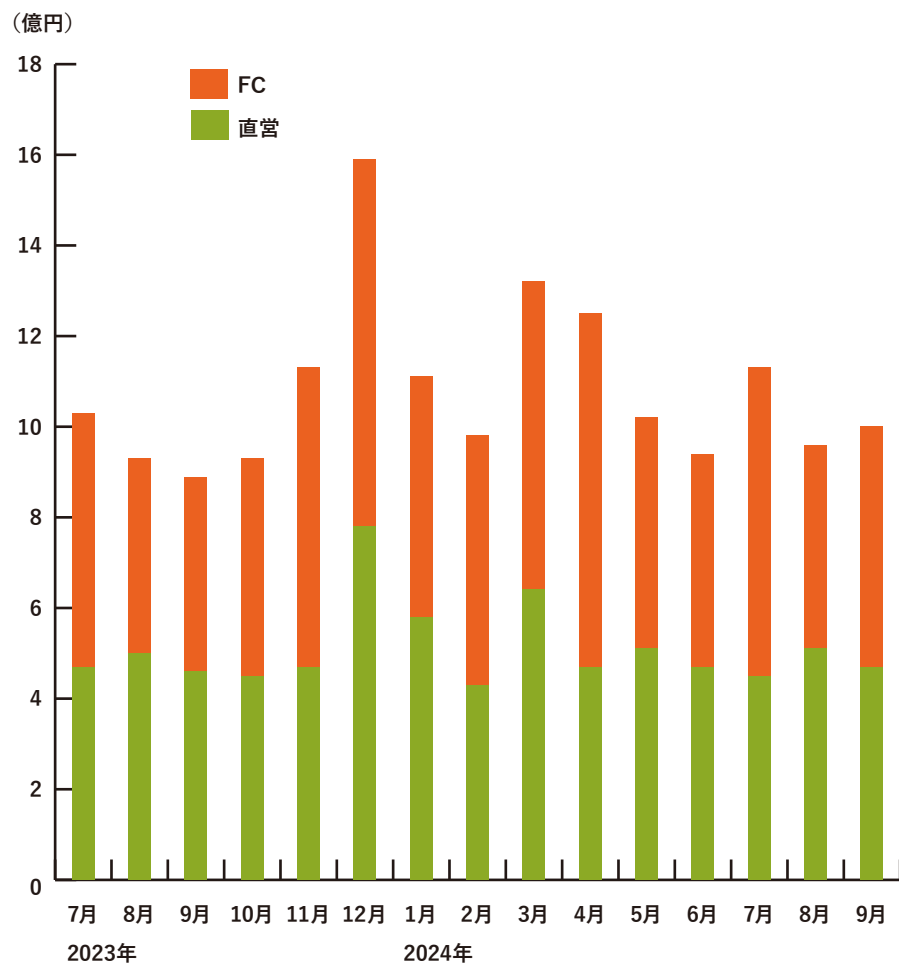
既存店(※1・2)売上高・客数・客単価昨対比



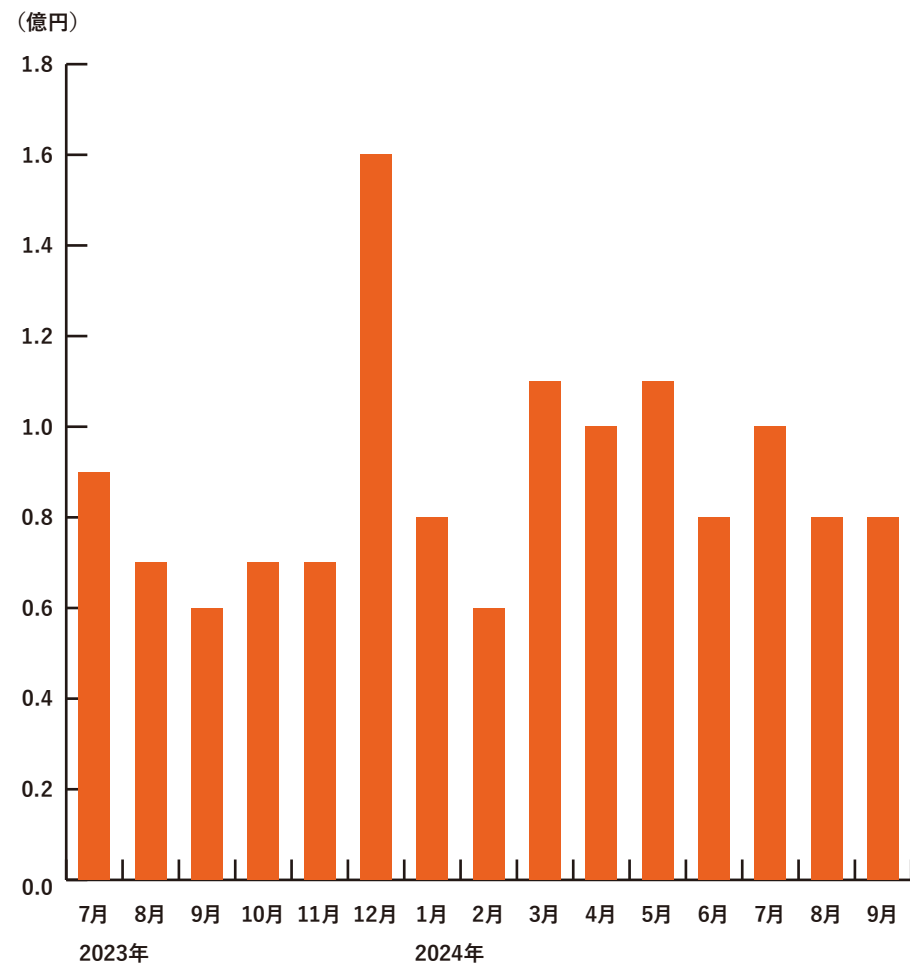
※1.当社グループは、開店後18か月以上経過した店舗を「既存店」としております。 ※2.各年度期首で開店後18か月以上経過している店舗を対象に売上高・客数・客単価の昨対比を計算しております。

販売チャネル別実績(店舗・EC)

■ 四半期売上高(店舗)

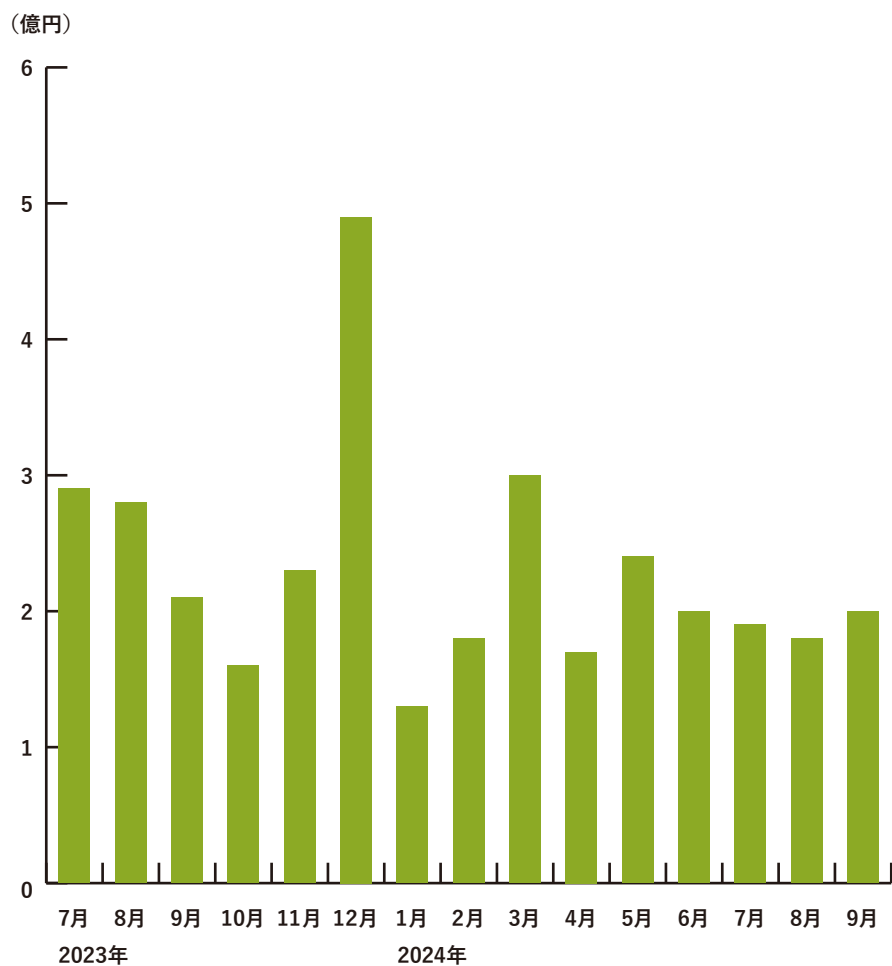


■ 四半期売上高(EC)

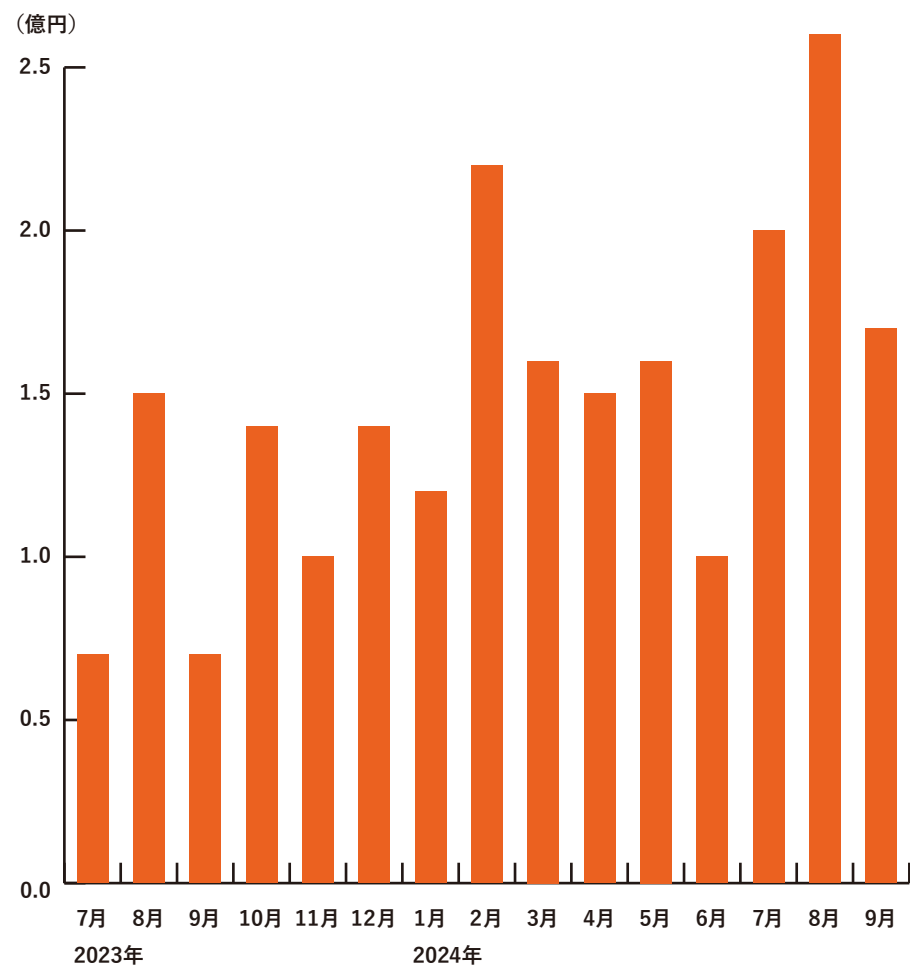


販売チャネル別実績(ホールセール・グローバル)

■ 四半期売上高(ホールセール)



■ 四半期売上高(グローバル)



過年度四半期連結業績

単位：千円	2025年3月期			
	1Q		2Q	
		構成比		構成比
売上高	4,597,296	100.0%	4,611,672	100.0%
売上総利益	1,594,191	34.7%	1,595,602	34.6%
営業利益	87,301	1.9%	148,069	3.2%

単位：千円	2024年3月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	4,806,138	100.0%	4,212,860	100.0%	5,285,263	100.0%	4,858,655	100.0%
売上総利益	1,933,554	40.2%	1,621,506	38.5%	1,885,250	35.7%	1,613,436	33.2%
営業利益	502,632	10.5%	243,836	5.8%	341,528	6.5%	201,194	4.1%

単位：千円	2023年3月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	4,198,020	100.0%	3,929,212	100.0%	5,055,894	100.0%	4,682,521	100.0%
売上総利益	1,728,763	41.2%	1,502,712	38.2%	1,973,802	39.0%	1,824,796	39.0%
営業利益	444,886	10.6%	223,073	5.7%	510,222	10.1%	421,606	9.0%

2025年3月期第2四半期 新商品情報



サンク
ゼール

飲む酢
マンゴーパッション



サンク
ゼール

かぼちゃプリンジャム

2025年3月期第2四半期 新商品情報



久世福
商店

真いわしの骨せんべい



久世福
商店

真あじの骨せんべい



久世福
商店

大人のしゃけしゃけめんたい
大瓶タイプ



久世福
商店

みんなのしゃけしゃけフレーク



久世福
商店

粉末万能だし
40g・180g

2025年3月期第2四半期 新商品情報



久世福商店
小型店

霰だし



久世福商店
小型店

久世福の、もったいない。

2025年3月期第2四半期 新商品情報



ポート
ランディア

オーガニックスプレッド
ストロベリー



ポート
ランディア

オーガニックスプレッド
ブルーベリー



ポート
ランディア

オーガニックスプレッド
ブラックベリー



ポート
ランディア

オーガニックホットソース
スモーキー



ポート
ランディア

オーガニックホットソース
マスタードカレー



ポート
ランディア

オーガニックホットソース
オリジナル

2025年3月期第2四半期 新商品情報



ホール
セール

白えびせんべい ほたるいか味
(Premium White Shrimp Chips)

2025年3月期第2四半期 新店情報



久世福
商店

久世福商店
イオンモール奈良登美ヶ丘店



久世福
商店

久世福商店
町田マルイ店(小型モデル)



久世福
商店

久世福商店
ゆめが丘ソラトス店



久世福
商店

久世福商店
ららぽーと福岡店



久世福
商店

久世福商店
エミテラス所沢店

ESGへの取組み

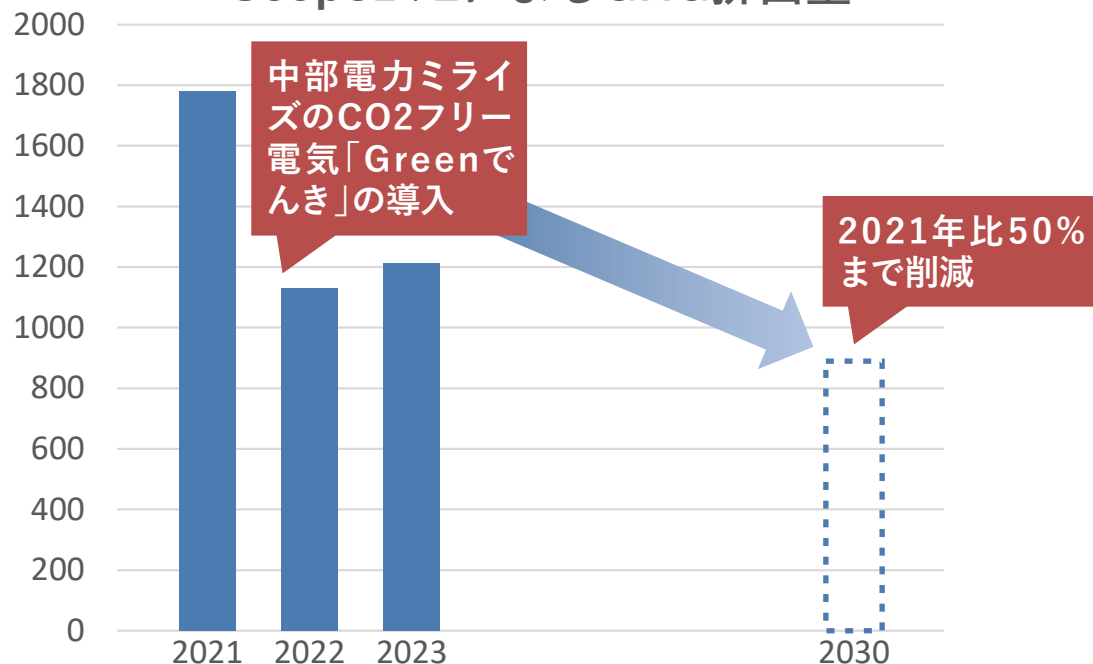
温室効果ガス排出量の測定と精度向上



Scope1+2への取組み

2030年の目標(2021年比で50%削減)に向けた施策検討と取組み

Scope1+2によるGHG排出量



Scope3への取組み

Zeroboard導入によるGHGの算定と可視化に向けた取組みを推進中。

人的資本の充実化



■数値目標

女性管理職比率



■多様な働き方

- リモートワーク
 - 地域限定勤務
 - 短時間勤務
- 拡大

- 各種休業取得
- 支援と推奨
- 男性育休取得率

75%

2024年3月末



参考:2023年度全国の男性育休取得率30.1% (厚生労働省)

ESGへの取り組み

森林保護プロジェクト



「サンクゼールの森」

(サンクゼール信濃町センター敷地内)の保全活動

- 植生調査 ※協力: 信州大学教育学部森林生態学研究所
- 森林整備 (間伐・草刈り等)
- ネイチャーウォッチング

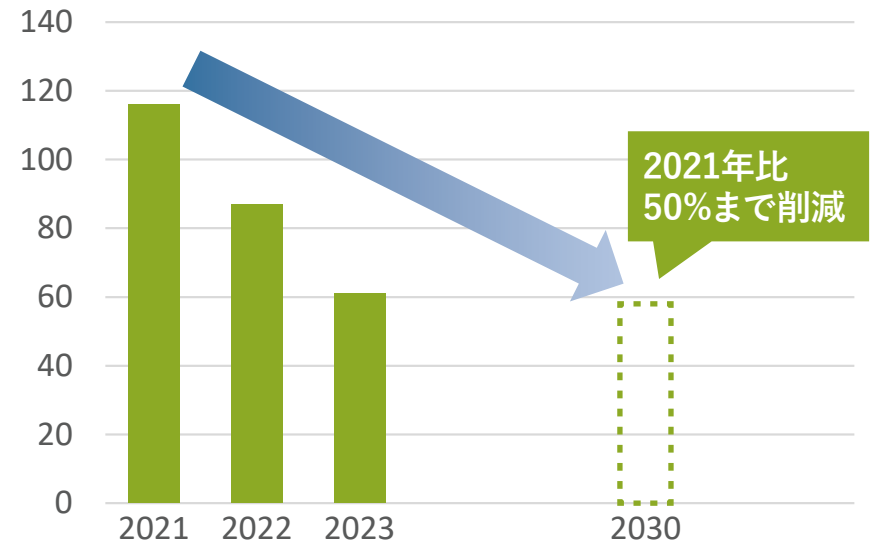


「サンクゼールの森」は「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」として環境省により令和5年度後期の「自然共生サイト」に正式認定。

食品ロス削減の取り組み



■ 自社工場・店舗における食品廃棄の削減



■ 動植物性残渣の再利用

黒姫牧場での飼料化・たい肥化取組み開始



11.1トン 参考: 2023年度動植物性残渣総重量67.5トン
2024年10月末

ESGへの取り組み



支援活動

タンザニア支援



季節ジャムの売上の一部を寄付



援助資金等により、2024年3月に完成した保育園

食を通じた支援

長野県内の支援団体を通じて、県内の子ども食堂等にサンクゼール及び久世福商店の商品を寄贈。

